

# CHALLENGER

15号

## 平成26年度のスタートによせて

平成26年度のウィール社の事業がはじまりました。ご利用されている25名の3障害の方々に対し、それぞれのニーズや夢、望まれる自己実現にそっていかれるように、B型事業所の生産・受託活動をとおして支援していきます。

昨年4月に障害者優先調達推進法が施行され、私達事業所にも積極的にその供給力を高めていくことや、より良い職場環境づくりの実践も求められています。今年度もご利用者と共に顧客満足を第一として、責任感と意欲をもって取り組んでまいります。

ウィール社 所長 長尾恭代



今回のお花見は早明浦ダムの湖畔です！  
さめうら荘でおいしい昼食を頂いてから、暖かい日差しの下で桜を満喫しました！



社会福祉法人 土佐厚生会  
就労継続支援B型事業所 **ウィール社**  
〒783-0052 高知県南国市左右山269-1  
TEL:088-862-3455 FAX:088-862-3457

URL <http://www.tosakouseikai.or.jp/wealsha/>  
E-mail: [weal@tosakouseikai.or.jp](mailto:weal@tosakouseikai.or.jp)

■access■ ・南国インターチェンジから車で5分。  
・JRごめん駅から車で15分。

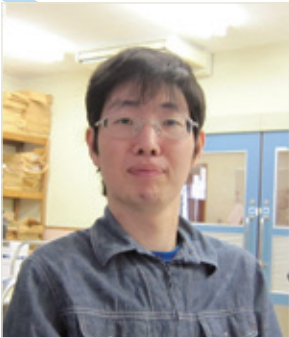
# 新人紹介



私は文野真貴です。高知市生まれの高知育ちで、アラフォーを少し過ぎました。3人家族で専門学校の娘を育てながら、平成25年10月からウィール社に送迎車で通所しています。右股関節の障害ですが、家の都合で遅刻せざるをえない時は、バイク(50cc)で通います。入所前までは介護関係の仕事をしていましたが、左膝の半月板損傷の手術や右股関節障害のために辞めざるをえませんでした。その後何もしないで家にいたのですが、何か今の自分に出来ることがあればと思い、ウィール社に来ました。

入所してからは、元の身体まではいかないけど、少し動きやすくなり、塞ぎがちだった気分が仲間との会話もできるようになりました。生活は決して楽ではないです。少しでも多く収入が得られるように、続けて通所したいと思っています。

母親と主婦の役割をしながら、自宅のプランターでネギ、ブロッコリー、大根等を育てることが、楽しみの一つとなっています。



2013年9月に通所をはじめて、8ヶ月位となる久岡史明です。パソコンで編集の作業をしています。27才です。性格には思ったらすぐ行動するというせっちな点があり、時々危ないと注意を受けます。又、会話の仕方や場の空気の読み方が苦手です。だからついつい一人での行動をとりがちです。

自分は脳腫瘍で2012年3月下旬に高知医大に入院し、2013年6月中旬に退院しました。手術は入院して1週間くらいにしました。退院後は自宅で過ごし、週に1度通院していました。

英語圏での留学経験があります。日常会話ぐらいは出来るかもしれませんが。英語に興味がある人は英語で話かけてみて下さい。ビジネスクラスは御容赦下さい。See you again!は自分が帰る時にかわす職員との会話です。

大学は高知工科大学の理論物理研究室に居ました。確率について研究していましたが、結構前のことなので記憶が薄いです。積分のやり方を忘れてしまいました。

今、自伝的な本の出版に向けて、自宅で執筆活動をしており、7月の仕上がりを目指しています。完成すれば県内の学校や図書館に配布させていただく予定です。

こんな自分ですがよろしく願いいたします。



私は高岡寿宏です。昭和35年生れの53才です。南国市で生まれ、高校卒業後大阪で仕事をし、南国市で水道関係の仕事を中心にしてきました。平成24年に働いているとき、脳梗塞で右片麻痺と失語症になりました。手や足の障害は軽いですが、言葉の方は言いたいことが言えません。でも他の人の言っていることはちょっとだったらわかります。

ウィール社へは、平成25年10月に送迎車で通いはじめました。仕事は主に出し汁となるいりこの頭や腹ワタ等の分割作業です。週5日休まず通っています。仕事はしんどいけど、楽しいです。病気になってからは、何もしないで家にいたので、少しでも収入が得られるのがうれしいです。今年のお正月には、子どもと孫9人にお年玉を少しずつ渡すことができました。ウィール社には、これからも続けて来ます。昼のウィール社弁当はおいしい。全部食べます。

(チャレンジャー担当取材)

※ご自身から、「捨てたらもったいない。」

うれしい自発の言葉でした。



この春よりウィール社の一員となりました、山中圭介です。初日には緊張でろくに挨拶ができず少し悔しい思いをしていましたので、この場を借りて自己紹介いたします。僕は2011年夏に脳出血で左半身麻痺となりました。半年間のリハビリで歩ける程にはなりましたが左手は動かさないままです。今年38歳になります。

20歳の頃から土木・建設の現場作業員として働いており、これまでに身に付けた技術や資格は麻痺の残る身体では活かすのは厳しく、退院後は無職となり、働けそうな求人をつまみに探すだけのだらけた生活が続いていました。運動不足で徐々に筋肉が衰え、身体が弱っていくことに焦りを感じていたところ、地域活動支援センターあけぼのからウィール社のことを聞き、見学を経て通うことに決めました。

子供の頃から趣味として触れていたパソコンでの編集作業はやりがいがありまた楽しくもあり、一日があつという間に終わってしまう感じです。最初は仕事としてできるか不安でしたが、担当職業指導員の指導のもとひとつずつ操作方法を身に付け、この歳になって何かを新しく学ぶ楽しさに目覚めてきました。今はまだソフトウェア習熟中の段階で編集の実務までとはなっていないのですが、少しずつまかせてもらえるように頑張っていきたいです。

僕は無口で会話も苦手ですが、昼食時や休みの時間をとおして、利用者や職員との距離も縮めていって今までにはなかった楽しみもつくりたいと思っています。今後ともよろしくお祈りします。

## 11月27日(水) 大相撲力士 栃煌山関が慰問に訪れてくださいました!



## 年末のX'mas忘年会の様子です。みなさん楽しそう!



## 印刷科

## 作業内容紹介



印刷科では現在6名のご利用者が在籍し、名刺・封筒・伝票や冊子の印刷とミシン目入れ作業や検品作業、包装作業等で日々奮闘しています。

お客様に満足して頂ける様に質の良い作業と納期に間に合うように努めています。

これからもよろしくお願い致します。

印刷科 職業指導員 長田真尚



## 平成26年 6月 第16回障害者スポーツ大会

6月1日(日) 春野総合運動公園にて第16回障害者スポーツ大会があり、ウィール社から9名の選手が出場しました。ポッチャ・フライングディスク・卓球の3種目に参加して皆さん健闘し、メダルも二つ獲得する事ができました。

お米・お茶などの  
販売、配達も  
いたして  
おります。



名刺・チラシ・ポスター・  
クリアファイル等、  
各種印刷物の御注文も  
承っております。

(詳しくは、お電話などでお問い合わせください。)

## 編集後記

暖かく過ごしやすい時期があったという間に通り過ぎ、暑さを感じる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回14号の編集を任されることになりました。大工だった自分がそんなこと…と不安もありましたが、良い勉強になりました。

春という季節は、何か新しいことにチャレンジするのに最適な季節だと思います。皆様も何か新しいことにチャレンジされてみてはいかがでしょうか？

利用者 山中 圭介

初めて広報誌担当になり、不安材料ばかりが頭をよぎりましたが、利用者の山中圭介さんのがんばりで発行できる事となりました。これからもよろしくお願い致します。

職業指導員 山中 昭